

子どもの未来を

2010年
初春号

地域で育む

みなみ市民活動センターは子育てを応援します

センターを会場に活動し始めるグループがぞくぞく登場します



中国語親子の母語教室:

両親あるいはお父さんかお母さんが中国出身者で、日本の公立小中学校に通う子どものための中国語教室です。

多文化のルーツを持つ子どものアイデンティティを確立するための支援です。

毎週土曜日午前10時～12時



ママ学サロン:

子育て中のママが仲間と共に学びの場を作ることを目的としています。

ママが元気になるテーマを決めて、月1回活動していきます。例えば、食育・アロマ・リラクゼーション・音楽・読み聞かせ etc.

子育て(中学生まで)中のママなら、どなたでも入れます。

保育ボランティアみなみ:

公共的な保育及び親子遊び学級等の企画運営を通して、会員自身の成長を目指します。

保育ボランティア養成講座の受講者から構成されたボランティアグループです。



NPO法人ひだまりの森:

親としての立場で、子育て中の親とその子どもを支援しています。

電話相談・グループ相談を軸に、親と子のニーズを反映させた講座等を実施します。

子育て経験者・相談に携わる自覚のある方をボランティアとして募集しています。

マジカルチャイルドクラブ:

国際結婚など外国につながりがある家族の子育て自助グループです。

多言語絵本カフェ・多文化家族週末交流会・多文化子育て相談など、会員の親睦と共に国際交流と多文化共生に貢献できる事を願っています。

ママに元気を、子どもに自信をもっと - に会員を随時募集中。



七彩虹(ちーさなゆめ):

お絵描きの勉強を通して、地元の親子とも親睦交流を図り、健全かつ教養ある子どもを育てたい。

日中国際結婚の家庭が多いので、国際交流もできます。日中友好に興味のある方なら、どなたでもOK。

グループに関する問合せは
みなみ市民活動センターへ

『アクセスみなみ』に掲載する情報を
募集します

みなみ市民活動センター情報誌『アクセスみなみ』は、区民の皆様が市民活動を行うときのお手伝いをします。

みなみ市民活動センターに利用登録されますと、市民向けの講座やイベントなどの情報掲載および自団体の活動紹介やPRなどが載せられます。先2～3ヶ月以内に開催されるもの、政治・宗教・営利を目的とせず、公益性のある内容に限ります。

みなみ市民活動センター（232-9544）へご連絡ください。

歌声サロン・大倉山



～ 健生音楽団



みんなで一緒に歌いましょう

少しだけ「耳より話」もある歌声喫茶です

日時: 3月25日(木)15時～16時20分

場所: 大倉山レモンロード沿い 川信の向かい

ISビル2階 地鶏焼肉「グラビティ」045-544-4303

東急東横線 大倉山駅より徒歩3分

参加料: ¥700 (コーヒー、つまみ、歌詞集)

問合せ: 神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会

神奈川健生音楽団 斉藤 045-712-2138

楽しく古い支度講座

～ NPO法人 いのちところ

心残りなく旅立つために、後悔しない最期の準備とは

日時: 3月20日、27日(土) 10:00～11:30

場所: みなみ市民活動センター 研修室

費用: 1000円(1回しか参加できない場合 800円)

申込: 先着30名 FAX 045-743-9972 か

Eメール lesson@inochi-kokoro.or.jp で事前申し込み

問合せ: 電話 045-743-9595/090-8942-4022

区民が企画した南区を元気にする講座

～平成21年度南区生涯学級報告

いきいきママ講座

掃除のコツ・骨盤底筋体操・アロマセラピー・ヨガ・カラーセラピーなどにチャレンジして、「いきいきしたママになって子育てを楽しもう」というコンセプト。

運営委員も受講生もどんどん変化し、キラキラいきいきしたママになりました。予想

通りに(?)受講生の中から来年度の運営委員が誕生し、来年度も「いきいきママ製造計画」は続きます。



パソコンボランティア養成講座

パソコン初心者支援のための教え方を学び、地域でボランティア活動することを目標にしました。運営委員と受講生は自主グループを立ち上げて、蒔田コミュニティハウスで第2・第4水曜日「パソコン相談会」を開催しています。

緑のある公園で生き物環境を学ぶ

2年間大岡川周辺での生き物観察を続け環境を考えてきました。今年3年目は子ども植物園や児童遊園地まで範囲を広げて、蝶・野鳥・植物・自然を観察。人間にとってよい環境と生物が生き残っていくための環境を考えました。自主グループができて、毎月第3日曜日に観察会が継続されています。



スマイル・リフレッシュ講座

2月末まで開講中。学習テーマは自然治癒力。心理学・ヨガ・体のツボ・アロマなどの活用法を学びます。学級の目的は学んだことを地域で役立てること。講座終了後、地域活動の実現に向けて話し合いが行われます。一緒に活動する人を募集中。来年度にも期待が膨らみます。



あなたも南区を元気にする講座の企画をしてみませんか?

(H22年度生涯学級運営委員募集)

3月5日までにハガキまたはFAXで、学習したいテーマや企画の内容・氏名・連絡先を記入し、「南区役所地域振興課生涯学習支援係」へ。

電話: 743-8195 FAX: 712-0404

第10回 手作り紙芝居コンクール



審査員特別賞は南区在住片岡直子さん

平成21年12月13日、県立青少年センターにおいて172点の応募作品の中から選ばれた本審査会が150人の観客を前に、実演審査で開催されました。自作の紙芝居を、思い入れたっぷりに、また淡々と、それぞれ個性あふれる発表となりました。

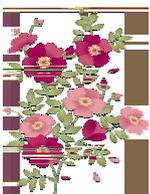
石罫工場発祥の地が南区万世町にあり、明治6年7月洗濯石罫が生まれるまでの苦労を「横浜開港150周年いそえもんのせっけんづくり」と題した紙芝居でおもしろおかしく演じた片岡さんが観客賞も合わせて受賞しました。「いそえもんは記録魔だったので、どのエピソードも捨て難くまとめるのに苦労した」そうです。

応募作全体に「目立とうとする作品が減って、身近なものに目を注ぐ、心が滲みでるものが増えてきた」との講評で終了しました。

永田中学校「わくわくワーク」

1月29日、30日の二日間、永田中学校にてさまざまなジャンル(茶道、太極拳、ナチュラルクラフト、百人一首、お琴、お菓子作り、ジャズダンス、マナー教室、和紙クラフト、アロマテラピー、ポリマークレイ、フラワーアレンジメント)の南区街の先生12人が2年生の生徒を指導しました。日頃授業では学べない、教科以外の講座を受講できるとあってか、楽しそうに生き生きと活気に満ちていたようです。

それぞれの講座は希望する生徒のみが参加しているので数人の参加者との楽しいやりとりもあり、教える街の先生たちもわが子やお孫さんと同じような年代の生徒の真剣な態度にわくわくされていました。先生からは「一生懸命学んでくださり大変嬉しく思いました。」と感想をいただきました。



国際理解講座：シルクロードの国ウズベキスタン

1月30日みなみ市民活動センターで、日本ウズベキスタン協会のご協力をいただいて、南区国際理解講座が開催されました。主催者の予想をはるか上回る40余名の参加となり、アンケートの結果では、9割以上の参加者からイメージ以上の満足度が得られました。



ウズベキスタンの元留学生が母国の歴史文化、特に結婚の風習についてレクチャーしたあと、グループに分かれて、ウズベキスタンのお菓子を食べながら、質疑応答も熱気をおびたころ、ウズベキスタンダンスの観賞になりました。その後、受講者一同は踊りだし、会場を盛り上げました。受講者からは、「普段あまり知る機会のない国々について、今後も理解講座を通して見聞を広げたい」といった声が聞こえています。

それを受けて、みなみ市民活動センターは、これからも頑張りたいと思います。



朗読の会「風」おさらいかい

朗読の会が発足して5年、初めてのおさらいかいを開催しました。外部に周知する時間がなく内輪だけの発表でしたが、それでも普段朗読するのは異なり、皆の視線を浴びて緊張しながらのひとときでした。今まで先生に教えていただいた教材の中から、自分で選んだ読みたい作品を持ち時間5分で朗読します。指導講師からひとりひとりに講評と「全体的に良く出来ました」という励ましの言葉をいただき、朗読の難しさを知ると同時に楽しく続けていこうとの思いをあらたにしました。



気軽に相談できる助産師がいる
みなみ・サンバの会



赤ちゃんと一緒に遊びに
来てみませんか？

「赤ちゃん」を授かると、心も・体も・生活スタイルも・食生活も・・・大きな変化があります。そんなママ達の近くに「気軽に相談できる助産師がいたらいいな」というママ達の要望の声から生まれた助産師グループです。

- “ 陣痛の感じがわからなくて怖い！！ ”
- “ 出産に耐えられるかな？ ”
- “ 妊娠中のおっぱいケアはこれでいいの？ ”
- “ 体重増えすぎ？ ”

と心配の多いプレママさんには1つ1つ質問に答え不安の解消のお手伝い、またそんなママをサポートして下さるプレパパさんには、人形の胎児ちゃんと触れ合ってお腹の中の赤ちゃんをより身近に感じていただいたり、パパに妊婦体験をしてもらうことでママの大変さを理解してもらいます。

胎内からの子育てについてや、出産後の

- “ 赤ちゃんはどんな遊びをするの？ ”
- “ 泣くことが多いけれどおっぱいは足りてるの？ ”
- “ 体重が増えない ”
- “ 下に寝かせると泣く ”
- “ 離乳食を食べてくれない ”
- “ トイレトレーニングは？ ”
- “ 二人目が生まれたら、上の子がわがママになったのはなぜ？ ”

と不安を口にするママ達。

そんな日常生活の様々な事に対して、1人1人に合った方法で育児が出来るように必要な情報を提供し、「日本の育児文化」を伝えていくサロンを開催しています。

《サンバの会 活動内容》

- ・育児サロン
毎週水曜10～12時
みなみ市民活動センター
(浦舟複合福祉施設10階)



《サンバの会 連絡先》

- 代表 渡邊ケイ子
- TEL&FAX 045-712-5360
- E-mailアドレス
sl.tm.24@ezweb.ne.jp (谷口)
- ミクシー「サンバの会」



発行：みなみ市民活動センター

〒232-0024 南区浦舟町3丁目46番地 浦舟複合福祉施設10階

TEL 232-9544 FAX 242-0897

<http://www.city.yokohama.jp/me/minami/profile/sisetsu/shiminkatsudo/>

相談時間：午前9時～午後5時(火曜日は夜9時まで)

休館日：第3月曜日(祝日の場合は翌日) および年末年始

横浜市広報印刷物登録第 190187 号 類別・分類 C-QA010

